

# Relationship

## JTSU-E Shinagawa Mail News

JTSU  
JTSU-E 品川支部  
JR EAST TRANSPORT SERVICE WORKERS UNION-SHINAGAWA

2021.11.26  
NO.023

**労働組合の弱体化を目的とした強制配置転換を許すな！  
本人希望に沿った異動、自発的な成長とその環境の整備の実現をめざし、  
組織破壊攻撃に屈せず、仲間とともに決起する**

# 品川支部怒りの緊急集会を開催しました！

その③

### 集会アピール

田町運転区分会の林執行委員長に大田運転区への異動の事前通知が出された。これは、本人希望を無視した「強制配置転換」であり、組織の弱体化を狙い、会社の人事権を濫用した「組織破壊攻撃」である。品川支部は全組合員からの怒りの抗議で「発令撤回」を強く求める。

田町運転区分会の林執行委員長は個人面談、調書でも異動希望は出していない。ましてや林執行委員長は、10月8日に行われた田町運転区分会、分会大会で組合員から信任された、組織の代表である。分会大会直後の林執行委員長の異動は、明らかに組織運営を妨害することが目的であり、分会組織に対する不当労働行為だ。

また、品川支部管内では輸送サービス労組役員ばかりを狙い撃ちし、林執行委員長を始め運車、営業職場の仲間が異動の発令を受けている。これらの異動は次期労働者代表選挙を見据えた、分会組織の弱体化が目的であることは間違いない。労働者代表選挙を会社の意を持つ代表者を選出させ、安全衛生委員会を独占し、職場運営を進めることは、労働者代表の役割と安全衛生委員会の審議充実に反し、法令の主旨を軽視し、職場で働く社員に対する不利益扱いである。

田町運転区分会、東京地本内の各運車分会、営業分会、施設電気分会は東京地本に要請書を提出し、地本は申26号「労働組合の弱体化を目的とした強制配置転換を直ちに止め、不当労働行為の根絶と正常な職場運営を求める緊急申し入れ」を行った。品川支部は地本交渉団を支えていく。そして、田町運転区分会に寄り添い、最後までたたかい抜く決意である。

2020年、4月から始まった「ジョブローテーション施策」を品川支部では「強制配置転換」であり、本人希望を無視した異動は「安全配慮義務違反」と「パワハラ」であること。そして施策の中止、見直しを強く訴えてきた。そして、悔しさを滲ませながら異動し、新たな職場で奮闘する仲間とつながり続けることで、組織強化を図ってきた。

会社はコロナ禍における赤字決算を、変革2027における社員の変革への果敢なチャレンジが必要だと私たちに求めている。しかし、本当に必要なのは会社幹部自身の変革ではないのか。労組破壊ばかりを目的とした官僚体質を変革しないかぎり、私たち社員と家族は幸福になれない。職場では現在個人面談が進められているが、この間の異動は面談で自己申告書に記入した希望とはかけ離れた懲罰が行われてきた。また会社は異動する社員に対し「異動することで成長してほしい」「多様な経験が必要」「同じ線区で経験年数が高い」と根拠のない異動の理由を繰り返し、しまいには「異動の理由は具体的に無い」と説明責任も放棄してきた。異動し、環境を変えることが社員の成長につながるというが、社員、人間の成長において、その一辺倒な考え方は、安全を最大の使命とする鉄道業において本当に相応しいのだろうか。人間は環境の変化に適應する能力と自己教育力を備えているが、自分で取り組めるような「整備された環境」や、その環境に関わるための方法を知らなければ、その力を存分に発揮させることはできない。会社の価値観で一方的に異動先を押し付けるのではなく、社員の希望を正しく理解し、その希望における環境を適切に用意することが、社員、人間の成長、そして、鉄道の安全確立と企業価値の向上へとつながっていくのではないのだろうか。経験労働が重視される鉄道業において、偏った価値観での人間教育は鉄道の安全を崩壊させる事態になりかねない。

私たちは会社による不合理的な「強制配置転換」と「組織破壊攻撃」には絶対に屈しない。品川支部全組合員の総団結で、田町運転区分会林執行委員長への「発令撤回」を強く訴える！さらにその力を基に今後も仲間とつながり続け、安全で働きがいのある職場を全組合員でつくりあげようではないか！

2021年11月26日  
JR東日本輸送サービス労働組合品川支部

労働組合の弱体化を目的とした強制配置転換を許すな！

本人希望に沿った異動、自発的な成長とその環境の整備の実現をめざし、

組織破壊攻撃に屈せず、仲間と共に決起する、品川支部怒りの緊急集会！

# 集会アピールを発出する！

# 安全で働きやすい職場をつくるため、仲間とともに屈せずたたかいます！